

# 緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2022年 10月 20日 No. 51



## 国際鉄道安全会議に参加！

10月17日から19日、スペインで開催された国際鉄道安全会議に参加してきました。2つのテーマにおいてJR東日本の現状とJR東労組の問題意識を世界に発信してきました。今回参加した企業・団体の中で労働組合の参加はJR東労組のみでした。各国の安全確保に対する取り組み等を学ぶとともに、労働組合として、働く者の視点で職場実態等を踏まえた提言を行う重要性がより高まっています。

**テーマ①** 人口減少社会、自然災害が相次ぐ社会の中で、地方ローカル線の活性化と安全輸送をどう確保していくべきか



### ●提言の要旨●

今までは地方ローカル線の利用者は減少の一途を辿り、進められる効率化によって自然災害からの安全輸送への対応が困難となります。この負の連鎖を断ち切るためには、地方ローカル線の活性化が必要ですが、地方ローカル線の活性化と安全輸送をどのように確保していくべきかの視点で提言を行いました。

### ●参加者から好評を頂きました●

- ◆ 今回のプレゼンは大変よかった。内容が日本だけでなく、他国にも関係することで、重要な題材だった。みんなが興味を持つ内容だった。
- ◆ 他国は、国鉄が多いけど、うまくいかなければ民間にする。民間にするとう営利目的となる。すると、サービスが低下する。

**テーマ②** 共に向上するために

～グローバルな安全管理、鉄道特有かつグローバルな安全性や規制関係を改善するために組織内および組織間で行われる協力、連携について～



### ●提言の要旨●

社会環境の変化に対応するために、経営側からは長期経営方針が打ち出されますが、現場との実態に乖離が生じているのが現状であり、働き方の変化と組織の在り方が変わる中でも、安全が第一であることは変わりません。働く側の視点から安全性の向上を目指すための提言を行いました。

JR東労組からは「柔軟な働き方」や「組織の再編」の施策や多発している事象等を踏まえて危惧することを述べてきました。他国の発表では、社会環境の変化に対応できる人づくりのためのマネジメントといった相対する視点もありましたが、問題意識を発信できました。

カナダのイアンさん(交通コンサルタント)からは、1990年にJR東労組とJR東日本が国際鉄道安全会議を創設した歴史を振り返り、JR東労組から貴重な発表をしてくれたと触れていただきました。JR東労組が積み上げてきたこの間の歴史の重要性と、今後も労働組合として安全確保に向けた提言を国際鉄道安全会議において発信し各国と連携を図ることが重要です。



## みんなに愛されるJR東日本を創り出そう！